

壁新聞にご利用ください。



新年のご挨拶

公益社団法人横浜港防犯協会
会長(代表理事) 藤木 幸太



明けましておめでとうございます。横浜港防犯協会、横浜水上警察署の皆様、並びに関係各位の皆様におかれましては、新春をお慶び申し上げます。また旧年中は、当防犯協会の活動に皆様方から多大なご支援とご協力を賜りまして、此処に改めまして厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界各地でISIL(イスラム国)等によるテロが発生し、人命が失われました。また、アジアにおいては、北朝鮮が、大陸間弾道ミサイル(ICBM)の発射実験を繰り返している、アメリカ全土が射程圏内に入ったと発表する等、極度の緊張状態が続いています。国内においては、国際テロの発生はみられていませんが、今後、国際テロのターゲットとなりうる二〇一九年ラグビーワールドカップ、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、横浜市内でも競技が行われることから、国際テロへの対策が急務となっております。また、横浜水上警察署管内では、昨年は、クルーズブームにより、大さん橋国際ターミナルには、概ね一八〇隻の大型客船が入出港し、一昨年は比率高く四一％の増加は過去最高の客船寄港数を記録しました。国内外の沢山の観光客が利用するとともに、赤レンガ倉庫地区や象の鼻パークでは、多くのイベントが開催され、週末には観光客で大変賑わっています。

発行
公益社団法人
横浜港防犯協会
横浜市中区海岸通1-1
電話 (201) 2982 番
印刷所 (有)ハマ印刷
TEL(260)0266

新年のご挨拶

横浜水上警察署長
小林 淳一



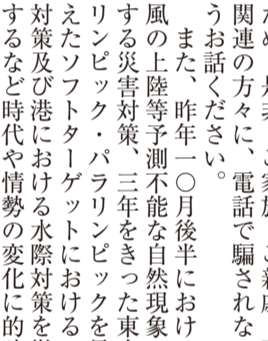
新年あけましておめでとうございます。横浜港防犯協会の皆様には、平素から防犯活動をはじめ警察署の活動全般にわたり、多大なるご支援、ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

今年、明治元年(一八六八年)に当署の前身であります水上見張所が発足して、一五〇年目を迎えます。当署の歴史は、開港以来、諸外国との文化が交流する日本の玄関口として重要な役割を果たしてきた横浜港の発展の歴史とともに、一世紀半の歳月を歩んできたものと感じております。

品が盗まれる置き引きなどの発生が多くを占めており、抑止対策として、警察官の警戒活動とともに防犯指導を含めた声かけ活動を強化しております。また、昨年発生した交通事故は、いづれの事故も軽傷でしたが、因とされた安全確認の不徹底が原因と思われる事故がほとんどで、防止対策として、交通量の多い通勤時間帯を中心に交通監視を強化しております。

新年のご挨拶

横浜税関監視部長
塚田 貴司



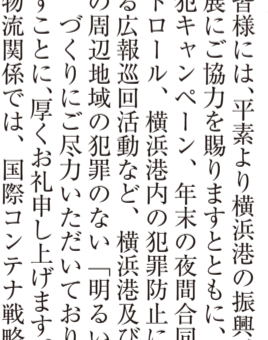
新年あけましておめでとうございます。横浜港防犯協会の皆様には、平素より防犯活動におけるご協力、ご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

朝の港の清々しい空気、夜の港の宝石のようにきらめく夜景等、魅力あふれる横浜港は、クルーズ船の寄港も一段と増加しています。今春には、大さん橋国際客船ターミナルをつなぐ大さん橋ふ頭一号線道路も改良され、交通渋滞の解消による利便性の向上が期待されます。

最近の不正薬物の摘発をみると、昨年五月に横浜港で中国産の覚醒剤、八上取引による約四七五kgの覚醒剤といった海上貨物や洋上取引を利用した密輸手口の大口化がみられることに加え、国際郵便物でもkg単位での不正薬物の摘発が顕著な不正薬物の密輸情勢は依然として深刻です。

新年のご挨拶

横浜市港湾局長
伊東 慎介



新年明けまして、おめでとうございます。横浜港防犯協会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

最後となりましたが、年頭にあたり公益社団法人横浜港防犯協会及び協会の皆様方のご発展とご健康を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

対応を図るためには、臨海部の施設運営者等である皆様との協力が不可欠です。今後ともどうか本市取組みへの変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

横浜水上交通安全協会
会長 原田 龍次郎



新年明けましておめでとうございます。横浜港防犯協会の皆様方には、新たな希望を胸に穏やかな新年をお迎えになられたことと存じます。

さて、横浜港防犯協会は日頃より犯罪防止のために広報、啓発活動、会社、事業所等への各種防犯活動を積極的に推進され、私達の地域を安全・安心な街づくりに多大な貢献をされていることに対し感謝と敬意を表する次第でございます。

壁新聞にご利用ください。

模倣な国際イベントが目白押しであり、我が国におけるテロの脅威は増すばかりであります。

近年、高齢者による自動車や自転車の事故が多発しておりますが、横浜水上警察署管内では、平成一九年一月からの「交通死亡事故ゼロ」を継続して、昨年一月一日現在で連続三、九八〇日となりました。

横浜海上交通安全協会といたしましては、交通安全を主として、横浜港防犯協力会はもとより、県・市・中区・警察等関係機関のご指導、ご協力をいただきながら、交通ルール



横浜市中区長 竹前 大

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。横浜港防犯協力会の皆様には、新しい年を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

藤本会長をはじめ会員の皆様には、日頃から市政・区政に御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

取り組んでこられました。年間を通じて、パトロール、キャンペーンなど、様々な防犯活動に御尽力いただきありがとうございます。

中区では昨年、車劣な振り込め詐欺の話が多く聞かれました。中区にある四つの警察及び防犯協会、防犯協力会が集まり定期的に開催している合同会議でもたびたび話題になっており、手口の巧妙化と被害の大きさにより区民の関心の高まりを感じております。

今年も中区では、五月には御馴染みの「世界トライアスロンシリーズ横浜大会」が、十月には「横浜マラソン」が、横浜港周辺を舞台に開催されます。

また本市では、一年後にラグビーワールドカップ二〇一九、そして二年後に二〇二〇オリンピック・パラリンピック東京大会と、国際的なスポーツイベントの開催が予定されており、本市もその会場の一つになってまいります。

安全な開催に向けて、引き続き横浜港防犯協力会の皆様と力を合わせ、「明るい港」「誰もが安心して活力を実感するまち中区」の実現に取り組んでまいります。

新年のご挨拶

横浜海上保安部長 小島 良二



新年明けましておめでとうございます。横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、よき新春を迎えられたことと謹んでお喜び申し上げます。

会員皆様には、平素より海上保安業務に對し深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず始めに昨年の出来事を振り返って見ますと、五月に横浜で開催された第五〇回アジア開発銀行年次総会では、開催前から横浜水上警察署や横浜税関と連携した船艇による合同パトロールや警備訓練を実施するとともに、開催期間中にも、関係機関と警備の連携を、自主警備の強化等を実行して頂き、横浜海上保安部では、巡視船艇により徹底した海上警備を実施し、無事に警備を終えることができました。

また、十月には横浜港におけるテロ等水際対策として、大さん橋ふ頭及びその前面海域において、関係機関と協力し、国際的なテロ対策、薬物・銃器等の密輸入、密入国者の阻止などについて、横浜港水際危機管理対応合同訓練を行い関係機関相互の連携強化を一層図ることができました。

二〇二〇年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、近年のテロは、どこでも起こり得る可能性があり、地域に密着した皆様による自主警備、関係機関との連携強化が必要不可欠となっております。

そのため横浜海上保安部では、より一層臨海部の施設管理者である企業等の皆様と連携し、情報収集から、警戒警備等の水際対策に至るまでのテロ対策の推進に取り組んで参ります。

さて、横浜港は我が国を代表する港であるとともに、年間を通して約三万隻以上の船が出入ります。それら船舶の円滑な出入港を支援していただくのが、当部の横浜港内交通管制室でございますが、本年一月一日をもって、東京湾内にあった東京・千葉・川崎の港内交通管制室とともに、横浜第二合同庁舎に移転した東京湾海上交通センターに統合されました。

一元化された港内交通管制により、今まで以上に安全で円滑な船舶の往來が可能になることと思っております。

横浜海上保安部としましては、今年も地域の皆様安心して海を利用でき、安全に海の恩恵を享受できるよう万全の体制を尽くし、海の安全、安心を守ることに邁進致す所存でありますので、今後とも会員の皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

横浜港運協会 会長 藤本 幸夫



港湾人の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、将棋界が大変な人気になりました。十四歳の藤井四段が二十九連勝、最多連勝記録を三十年ぶりに更新する等という偉業を果たしました。また、秋篠宮眞子さまが大学の同級生小室圭さんとご婚約内定するという大変おめでたいことがありました。さらに、十一月には日系人で川端康成さん以来となるカズオ・シゲロ氏がノーベル文学賞を授賞するという快挙を成し遂げるといっても過言でないことがありました。

世界の海運で大きなことが二つ起こっています。一つはコンテナ船の大船化です。十年前は五〇〇TEUの船が大型でしたが、現在は二万個積みなどの超大型船が主流になりつつあります。もう一つの大きな変化はコンテナ船が世界規模のコンテナ船会社の合従連衡と大手の船会社の破綻・消滅、結果的に大きく三つのアライアンスにまとまってきています。①2M（マースク・MSC）、②O（シャープ・アライアンス）、③Z（ZIM・アライアンス）（邦船三社が合併したONE・ハパックスロイド等）の三アライアンスです。これらの大きな世界海運の変化は当然近いうちに、港にも大きな影響を与えます。

船型が大型化し、船会社が競争して集約されると、当然寄港する港の削減が始まり、港が選ばれる港に入ります。我が国には国際コンテナを取り扱う港が多すぎます。隣国の韓国は釜山港一港に絞られていますので、選択から外れることはないでしょう。一方、横浜港はその意味で、世界の海運業界から選ばれる港にならねばなりません。

港は世界の海運の急な大変化に直面しています。幸い我々横浜港は二〇〇九年から国家戦略港湾を提案し、一昨年には、国家戦略港湾であるYKIPを設立し、横浜港が我が国を代表する国家戦略による港湾として生まれ変わっています。横浜港は日本コンテナターミナル基地として、国家の支援を受けてさらに充実され、インフラとして充実されていくことが確約されました。今後は、

そのインフラの上でコンテナターミナルを事実上運営する民間としての我々港運事業者の役割がますます大きくなります。日本を代表する国家戦略港湾として、横浜港は重要な港となります。コンテナの取扱量を増やすことが最大の目標となりますが、同時に信頼性の確保、より良いサービスの提供、安全性の確保なども大きな使命となります。

昨年十一月に、私が会長として兼務している「テロ・災害対策神奈川協力会」年次総会でご紹介させて頂きました。日ごろ懇意にして頂いている杉良太郎氏からの紹介で、イスラエル大使館のセキュリティ担当官から、イスラエルの本格的なテロ対策の考え方をお聞きした内容について紹介させて頂きました。要するに、イスラエルは人口八〇〇万人ほどで、総人口三億人を上る敵国に囲まれ、常時戦争状態下であり、国内でいつテロが起こっても仕方ない状況にある中でテロ対策を施して、極めて安全な状況を保っているということです。

イスラエルでは仮に自国の兵士が戦闘などで敵国側に捕らわれた場合、何故か奪還する。もし兵士が亡くなるとのことです。また、テロ対策を行うには、テロを起こそうとしている人間の行動監視が一番重要であり、そのための監視カメラなどのシステムを構築している、ということでした。

世界には様々なテロ対策があると思いますが、世界一劣悪な状況下でテロをほとんど完全に未然に防いでいるイスラエルでの経験は日本にとって最も参考になると思います。これから、イスラエルのテロ対策を是非参考とさせて頂こうと思っております。

山下ふ頭の再開発がいよいよ本格的な段階に入ろうとしています。我々はあくまで健全で、正当なインナーハーバーの開発を行います。我々の意向に沿わないものは、絶対に作らせません。もし、そんなことになりそうなら体を張って阻止します。また、ただ単に反対するのではなく、我々港湾人としての開発、MICを中心とした概念案を明確にしていきたいと思います。特に、国際展示会場を主にしたリゾート開発の方向性を検討し、港湾域を生かした開発に向けています。我々港湾人の聖地である「山下ふ頭」を未来永劫守り、横浜市民・国民にとってふさわしい開発を自らの手で進めてまいります。

本年も横浜港防犯協力会、さらに神奈川県警察本部、横浜海上保安部、横浜税関、横浜検疫所などの縦横斜めに亘る連携と我々港湾人さらには横浜市民が一体となって「みなと横浜」を守って行きます。みなと横浜の皆様のご多幸とご健勝を祈念致します。

新年 謹賀

公益社団法人 横浜港防犯協力会



個人(賛助)会員

- List of members including names like 藤本 幸夫, 田島 孝幸, 花田 明幸, etc.

諸官庁ならびに諸団体より寄せられました年頭の挨拶掲載は紙面の都合上順不同となりましたことをご了承いただきます。(編集部)